

2021年8月4日

ボルグワーナー

ボルグワーナー、浙江吉利控股集团(ジーリー)製 プレミアムピュア EV(電気自動車)に高電圧クーラントヒーターを供給開始 バッテリー効率の向上を実現

- *ボルグワーナー、ZEEKR001 への供給を開始*
- *高電圧クーラントヒーター(HVCH)の採用により、バッテリー性能の向上、航続距離の延伸、室内の快適な空調を実現*
- *コンパクトなモジュール設計、高い熱出力密度や高レスポンスを実現したコスト効率の優れたソリューション*

革新的で持続可能なモビリティソリューションを自動車業界に提供するボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:フレデリック・リサルド/Frédéric B. Lissalde)は、浙江吉利控股集团有限公司(以下、ジーリー)傘下の ZEEKR インテリジェント・テクノロジー社(ZEEKR Intelligent Technology Co., Ltd., 以下、ZEEKR)とパートナーシップを締結しました。ボルグワーナーは先進的な高電圧クーラントヒーター(HVCH)を ZEEKR ブランドの新型EVセダン、ZEEKR001向けに供給する予定です。

自動車の熱管理システムは内燃機関の影響からますます切り離されています。EVに至っては内燃機関とは完全に無縁となり、ハイブリッド車(HEV)では内燃機関の影響を受けない運転サイクルが伸びています。このため、即応性の高いソリューションが求められており、このような要求を満たすべくHVCHが開発されました。バッテリーパックやそれを構成するセルの温度分布をより安定させることにより、ボルグワーナーのクーラントヒーターはEVやHEVに使用されるバッテリーのエネルギー性能を向上させます。さらには、すばやく室内温度を調整できるため、ドライバーと乗員はより快適に過ごすことができます。また、熱出力密度が高く、小さい熱質量のおかげで反応速度が速くなるため、バッテリーの電力消費量が減少し、航続距離が延びます。

ボルグワーナーのエミッション/サーマル/ターボシステムズの社長兼事業本部長のジョー・ファドール (Joe Fadool) は、「1つのデバイスで2つの問題を解決できる革新的なヒーター技術を ZEEKR001 に供給することを嬉しく思います。当社の高電圧クーラントヒーターは、バッテリー温度を最適レベルに制御することにより、航続距離を延ばし、室内環境を理想的な状態に保ち、乗員が快適に過ごせるようになります。当社の高性能バッテリーや室内ヒーターシステムの豊富な品揃えは世界中の OEM に認められており、クリーンなモビリティを求める最新のトレンドを満たすのに貢献しています」と述べています。

HVCH は、最新の厚膜エレメント (TFE) テクノロジーを採用しています。出力損失が最小限になるよう HVCH の発熱体はクーラントに浸してあり、急速に熱を発生させる高性能システムの要件を満たすように開発されています。さらには直接温度を検知することが可能です。HVCH には、シングルプレートとデュアルプレートの2つの仕様があり、どちらも電磁シールド性の高い堅牢なアルミニウムハウジングに組み込まれています。HVCH は、供給電圧が 180~800 ボルトのシステムに適合し、出力レンジは 3~10kW となります。何らかの異常が発生した場合は自動的にシャットダウンするため、本機はオーバーヒートから保護されます。ボルグワーナーの HVCH を搭載した新型 ZEEKR001 は、2021 年後半に生産が開始される予定です。



浙江吉利控股集团(ジーリー)プレミアムピュア EV(電気自動車)に採用され
バッテリー効率向上を実現したボルグワーナー製高電圧クーラントヒーター

ボルグワーナーについて

ボルグワーナー (NYSE: BWA) は、自動車市場に革新的で持続可能なモビリティソリューションを提供する世界有数の企業です。OEM 向け純正品で培ったノウハウを活かし、グローバルアフターマーケット市場にもトップクラスの製品やサービスソリューションを提供しています。世界 23 カ国 96 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 50,000 人の従業員を雇用しています。詳細については、borgwarner.com をご覧ください。

本プレスリリース(以下、本「リリース」)に記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく、1995年米国私募証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、歴史的事実に関する記述を除く、本リリースに含まれる、または言及する形で盛り込まれた当社の財務状況、事業戦略、当該戦略を実施するための手段などに関して、将来起きる、または起きる場合があると当社が期待する、または見込むあらゆる記述は、将来予測に関する記述です。その例として、業務の変更、競争上の強み、目標、当社事業および業務の拡大と成長、計画、将来の成功に関する言及などがあります。当社の2019年12月期のForm 10-K年次報告書(以下、「Form 10-K」)の第7項「重要な会計方針(Critical Accounting Policies)」で記述されたものをはじめとする会計上の試算は、本質的に将来予測です。すべての将来予測に関する記述は、歴史的な動向、現在の状況、期待される将来の進展、当社がそれらの状況下で適切と考えるその他の要因に関する当社の経験と知見を踏まえた当社による仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄と著しく異なる場合があります。

これらの将来予測に関する記述は、本リリースの発行日における事柄を述べたものであり、過度に依存すべきではありません。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予見困難かつ一般的に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄とは著しく異なる実際の結果をもたらす可能性があります。そうしたリスクおよび不確実性の例として、COVID-19/新型コロナウイルスに関連する事態が及ぼす影響の範囲および期間に関する不確実性(さらなる製造停止等)、2020年10月1日に完了したデルファイ・テクノロジーズ社の買収から期待される利益の不実現、取得した事業の迅速かつ効果的な統合の不実施、取得した事業に関連する未確認または推測不可能な債務の可能性、当社とAKASOL AGとの間で提案されている取引が完了しない可能性、必要な規制当局の承認が得られないこと、または提案されている取引のその他の条件が満たされないこと、提案されている取引の期待される利益の未実現、自動車およびトラック製造(いずれも景気に大きく左右される)への当社の依存性、大手OEM顧客への当社の依存性、商品の入手可能性および価格、供給停止、金利の変動および外貨の為替レートの変動、与信枠、主要経営陣への当社の依存性、情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、さまざまな損害賠償に関する訴訟など既存または将来の法的手続きの結果、当社が事業を展開している国における関税など将来の法規制の変更、直近のForm 10-Kの第1A項「リスク要因(Risk Factors)」など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスクが挙げられます。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる出来事、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中井、浜辺

TEL: 03-6260-4854

EMAIL : borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp